

7/7  
五神

# 少子化で桜田氏が暴言

## 「原因は女性の寛容性不足」

自民党の桜田義孝元  
五輪担当相は5日、千

葉県柏市での街頭演説で、少子化問題にかんし「今、結婚しない男女が結構多い」「男の人は結婚したがっている」などとして「女性も、もっともって男の人に寛大になっただけだったらありがたい」と述べました。女性の「寛容性の不足」に少子化の原因があるとする暴言です。

桜田氏は、少子化は国内の大変な問題だとして、「50歳の男の人で20%が独身だ」となどと発言。「男の人は結婚したがっているんですけど、女の人は無理して結婚しないでいいという人が大変増えてきている。嘆かわしいことなんですけど」などとした上で「女性も、もっともって男の人に寛大になっただけだったらありがたい」と述べました。

結婚するかどうか、子どもを産むかどうか

かは個人の選択であり政治が介入するべきではありません。不安定雇用や低賃金、高すぎる教育費など「子どもを育てづらい」国にしてしまった自公政権の責任が問われます。SNS上では、「少子化を女性のせいにするな」「少子化の原因をつくったのは自民党の無策」「いつまで男尊女卑続けさせるつもりか」など怒りが広がっています。

桜田氏は2019年にも「子どもを最低3人くらい産むように」となどと女性蔑視発言をしていました。